

「教師、これからの展望をさぐる」

～長時間労働、過去最多の休職、教員不足を超えて～

対症療法的な対策を続ける教育政策と学校現場の間には深い溝が横たわっている。今回の教育討論会では、今、教師には何が本当は必要なのかを討論し、考えてみたい。教師も学校も変化した。学校は風通しの良い職場になっているだろうか。教師は主体的に学び続けることができているだろうか。児童・生徒は教師の背中に希望を感じることができているだろうか。教師の今を俯瞰し、課題と展望を考えるための機会としたい。



氏岡 真弓さん 朝日新聞社・編集委員
教育現場と乖離する教育政策などについて、これまでの取材経験などからお話しいたします。著書に「先生が足りない（岩波書店）」

菊地 栄治さん 早稲田大学・教育総研
都合よく解釈される教育の困難の本質とその危機的な状況。教師の今とこれからについて総括的に話しいたします。



日時 11月18日（土）14:00 開始
（13:45 より受付開始）17:00 終了予定
開催方法：会場とZoomによるハイブリッド
（オンライン定員 50 名）
会場：神奈川県高等学校教育会館
会場受付 13:30 より
参加費：無料
報告者：高校教員 大学生

【参加申込】

下の QR コード、または直接メールでお申込ください。申込は参加者ごとをお願いします。メールで申込む場合は、メールの件名を「教育討論会参加希望」とし「①名前、②所属、③連絡先、④参加方法（会場かオンライン）※氏岡さん・菊地さんへの質問（任意）」を下記 mail アドレスへお送りください。



【お問い合わせ】

（一財）神奈川県高等学校教育会館教育研究所
〒220-8566 横浜市西区藤棚町 2-197
Tel：045-231-2546
ゼロイチゼロロク
e-mail：GAE02106@nifty.ne.jp
メールアドレスは半角でご入力ください



主催：（一財）神奈川県高等学校教育会館教育研究所
共催：（一財）教育文化総合研究所
後援：神奈川県教育文化研究所